

※家庭学習、最低でも「学年×10分間」取り組みましょう！

怒りっぽいのは性格のせいなのかな？

校長 青坂 信司

◆私が担任した時の話です。家庭訪問しました。お母さんは気の強そうな方でした。少しの事では動じないように見えました。ところが、話していくうちに、急に真剣になり、悲しい顔になりました。お母さんは我が子の暴力的な事・集中力が続かない事を私に相談してきました。相談されるなんて思ってもみませんでしたから、ちょっとびっくりしました。

◆その子は、笑顔の素敵な子でしたが、口数の少ない男の子でした。しかし、何か気に食わない事があるとすぐに手が出てしまう暴力的な子でした。目を吊り上げて、よく喧嘩をしました。授業時間、すぐに集中力が切れなくなりました。立ち歩くことはなかったのですが、その子の目を見ると、集中力が切れると目がうつろでした。

◆そんな我が子の様子をお母さんはたいそう心配していました。小学生のうちに我が子の今の性格を直さないと、将来、大きな犯罪に巻き込まれたり、犯罪を犯してしまうのではないかと、そんなところまで考えて悩んでいました。そのことを、教師としては、まだまだ若い私に相談してきました。

◆私は、どのようにアドバイスしたらいいだろうかと思いました。私はお母さんに聞きました。

「性格は、そんなに簡単に直せないと思います。それより身体的にどこか悪いところはありますか？」

「そう言えば、鼻が小さい時から悪いんですよね。蓄膿症だとお医者さんから言われています。しかし、最近お医者さんに行っていないんですよね」

「そうですか。とりあえず今一度お医者さんに行って、完全に鼻を治しませんか。それでどうなるのか、様子を見てみましょう」

◆その後、お医者さんに行って鼻の治療が進むのに並行してその子の乱暴さや集中力が欠けるところは消えていきました。それは偶然だったのかもしれませんが。たまたまだったのかもしれませんが。私達は、ともすれば、何かがあると生まれつきの性格や人格のせいだ、とするところがあります。しかし、子どもの身体的な事や環境面で親が配慮してあげれば、さまざまなトラブルを未然に回避できる事があります。

◆高学年になるに従って、睡眠不足の子が増えていきます。夜、遅くまで起きているために睡眠不足になっています。そのために、起きるのが遅くなり、朝からお家の人に怒られて登校してくる。間に合えばいいのですが、学校に遅刻。それで担任の先生から、また怒られる。常にイライラ感、友達とのトラブル。こうしたことが生じがちになります。それは、子どもの性格や人格が悪いのではなく、生活リズムが壊れたところから生じたことです。生活リズムを正すと、案外友達関係のトラブルも減少するということがあるものです。